

(1) 調査概要

新たな都市計画マスタープランを策定するにあたって、お住まいの地域や各務原市全体のまちづくりに関する市民意向を調査し、基礎資料とすることを目的にアンケートを実施した。

■調査概要

調査の種別	紙面アンケート調査及びWEBアンケート調査
調査対象者	18歳以上の市民3,000人
配布数	3,000件
回答数	1,094件 ※回収率36.5% [参考：郵送回収 811件、WEB回答 283件]
調査方法	郵送配布、郵送回収またはインターネット回答
調査内容	①あなた自身のことについて ②これまでのまちづくりの満足度と今後の重要度 ③日常生活行動について ④今後の都市づくりについて ⑤各務原市のまちづくりに関するアイデア等
調査時期	令和6年10月4日（金）～令和6年10月25日（金）

■調査結果の概要

【まちづくりの満足度と重要度】

- 重要度が高いにも関わらず満足度が低い項目は、「16. 地震や水害に対する備え」、「13. 河川やため池などの水辺環境の保全」が挙げられる。
- 年代別に見た満足度の平均が高い項目では、20歳代以下を除く全ての年代において「1. 落ち着いた住環境」が最も満足度が高くなっている。

【日常生活行動】

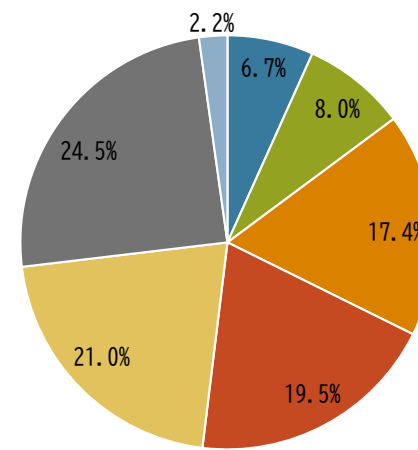
- 住まいから徒歩で移動できる範囲にあるとよい施設では、「バス停」が最も多く、次いで「小学校」「公園、遊歩道」となっている。自転車、車、公共交通機関等で移動できる範囲にあるとよい施設では、「職場」が最も多く、次いで「複合商業施設」「運動施設」となっている。東と西の都市拠点にあるとよい施設では、「娯楽施設」が最も多く、次いで「運動施設」「その他」となっている。
- 徒歩で移動できる範囲について、地域別に見ると、全ての地域において「バス停」が最も求められている。

【今後の都市づくり】

- 今後どのような住宅・住環境づくりを進めるとよいかについて、「住環境の改善、良好な住環境の維持・保全」の回答数が最も多く、次いで「人口減少に歯止めをかけるための新たな住宅地づくり」となっている。
- 今後農地をどうするとよいかについて、「優良農地はできるだけ残す」の回答数が最も多い。
- 今後の市街化調整区域における集落地のあり方をどうするかについて、「日常生活の足となる公共交通の確保」の回答数が最も多く、次いで「若年世代の移住・定住促進」、「生活基盤の整備」となっている。
- 今後どのような景観まちづくりを進めるとよいかについて、「住宅地の快適さが向上する景観まちづくり」の回答数が最も多い。

(2) 回答者の属性

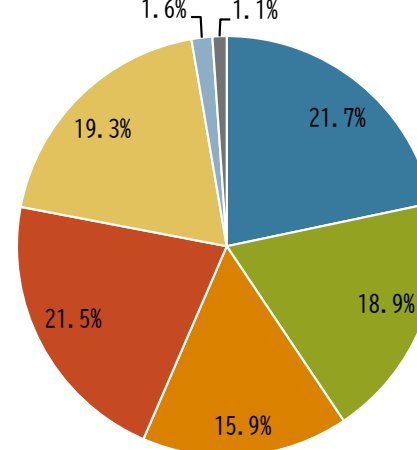
【年齢】



■ 20歳代以下 ■ 30代 ■ 40代
■ 50代 ■ 60代 ■ 70代
■ 80代以上

No.	問1 年齢	回答数	構成比(%)
1	20歳以下	73	6.7
2	30代	88	8.0
3	40代	190	17.4
4	50代	213	19.5
5	60代	230	21.0
6	70代	268	24.5
7	80代以上	24	2.2
	不明	8	0.7
	合計	1094	100

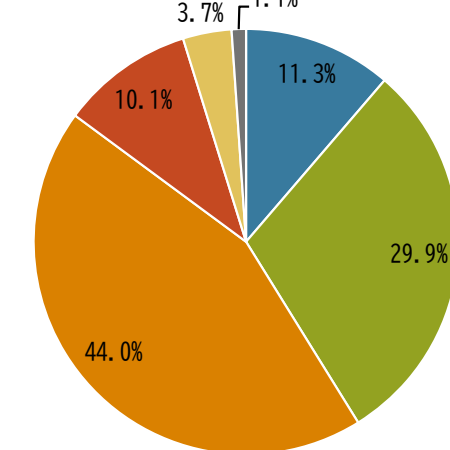
【お住まいの地域】



■ 那加地域 ■ 稲羽地域 ■ 川島地域
■ 鷺沼地域 ■ 蘇原地域 ■ その他

No.	問2 お住まいの地域	回答数	構成比(%)
1	那加地域	237	21.7
2	稲羽地域	207	18.9
3	川島地域	174	15.9
4	鷺沼地域	235	21.5
5	蘇原地域	211	19.3
6	その他	18	1.6
	不明	12	1.1
	合計	1094	100

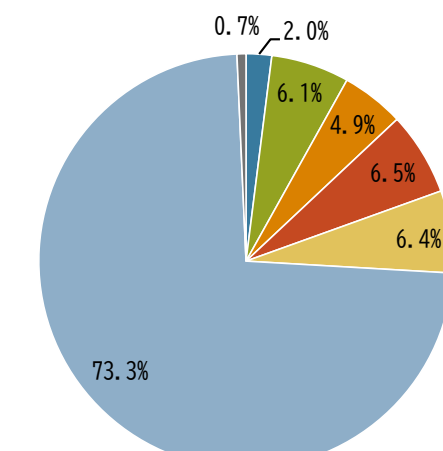
【家族構成】



■ 一人暮らし ■ 夫婦のみ
■ 二世帯（親と子） ■ 三世帯（親・子・孫）
■ その他

No.	問3 家族構成	回答数	構成比(%)
1	一人暮らし	124	11.3
2	夫婦のみ	327	29.9
3	二世帯（親と子）	481	44.0
4	三世帯（親・子・孫）	110	10.1
5	その他	40	3.7
	不明	12	1.1
	合計	1094	100

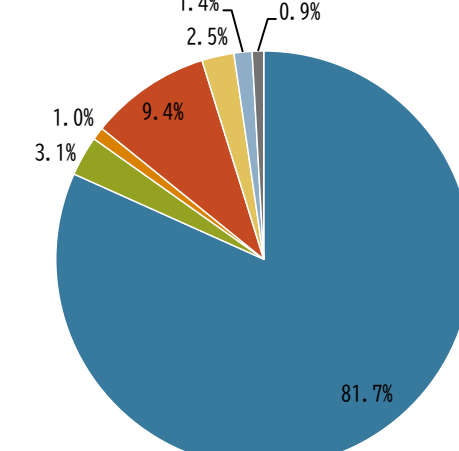
【居住年数】



■ 1年未満 ■ 1年以上5年未満
■ 5年以上10年未満 ■ 10年以上15年未満
■ 15年以上20年未満 ■ 20年以上

No.	問4 居住年数	回答数	構成比(%)
1	1年未満	22	2.0
2	1年以上5年未満	67	6.1
3	5年以上10年未満	54	4.9
4	10年以上15年未満	71	6.5
5	15年以上20年未満	70	6.4
6	20年以上	802	73.3
	不明	8	0.7
	合計	1094	100

【居住形態】

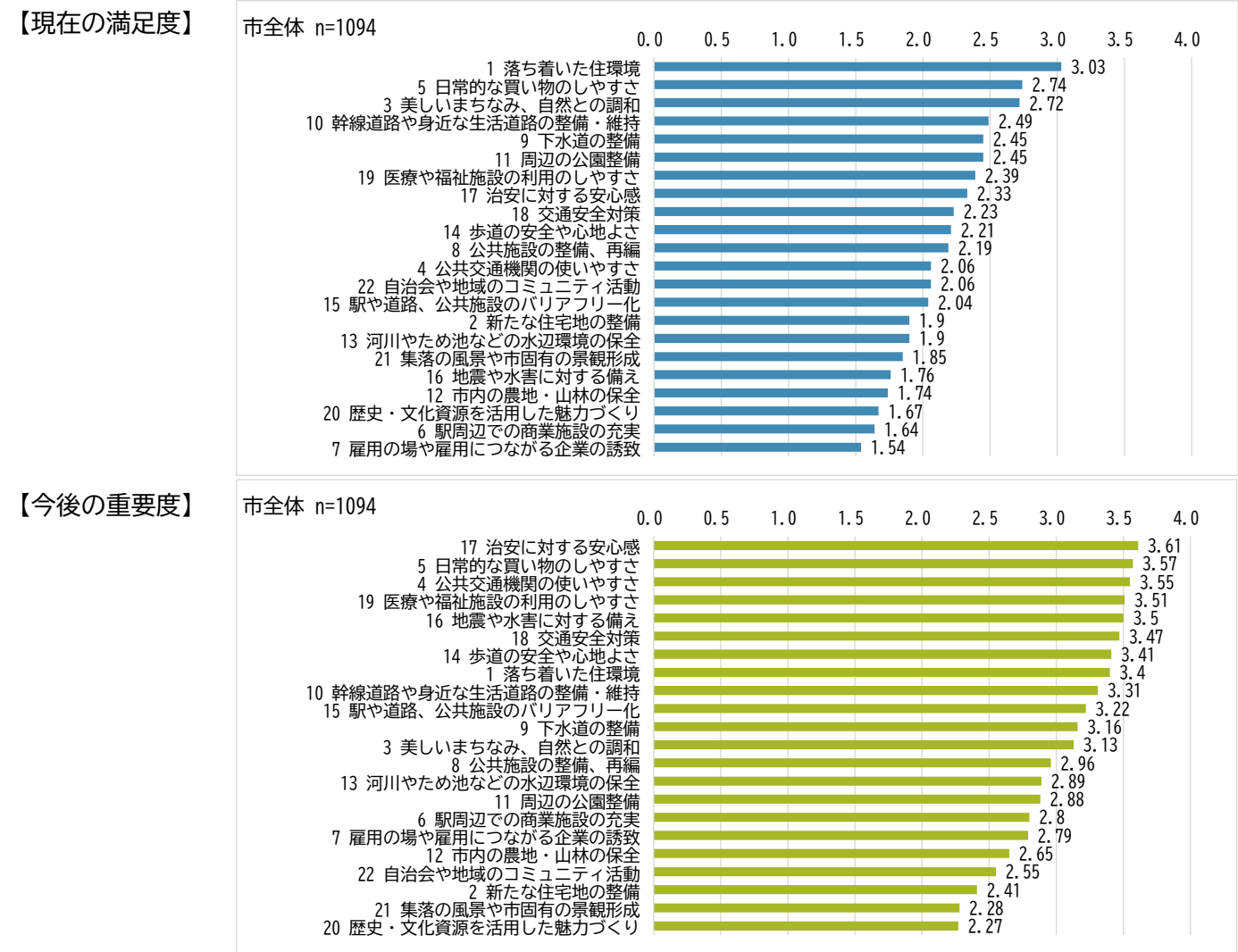


■ 一戸建ての持家
■ 分譲マンション
■ 一戸建ての借家
■ 賃貸住宅（マンション・アパート等）
■ 社宅・寮等
■ その他

No.	問5 居住形態	回答数	構成比(%)
1	一戸建ての持家	894	81.7
2	分譲マンション	34	3.1
3	一戸建ての借家	11	1.0
4	賃貸住宅（マンション・アパート等）	103	9.4
5	社宅・寮等	27	2.5
6	その他	15	1.4
	不明	10	0.9
	合計	1094	100

（３）調査結果

問６ 以下の項目の「現在の満足度」と「今後の重要度」について、現在のお気持ちに最も近い番号を１つずつ選び、○印をつけてください。



※満足度の平均は、
「満足」４点
「やや満足」３点
「やや不満」２点
「不満」１点
「わからない」０点
とし、合計値を回答者数で除して算出

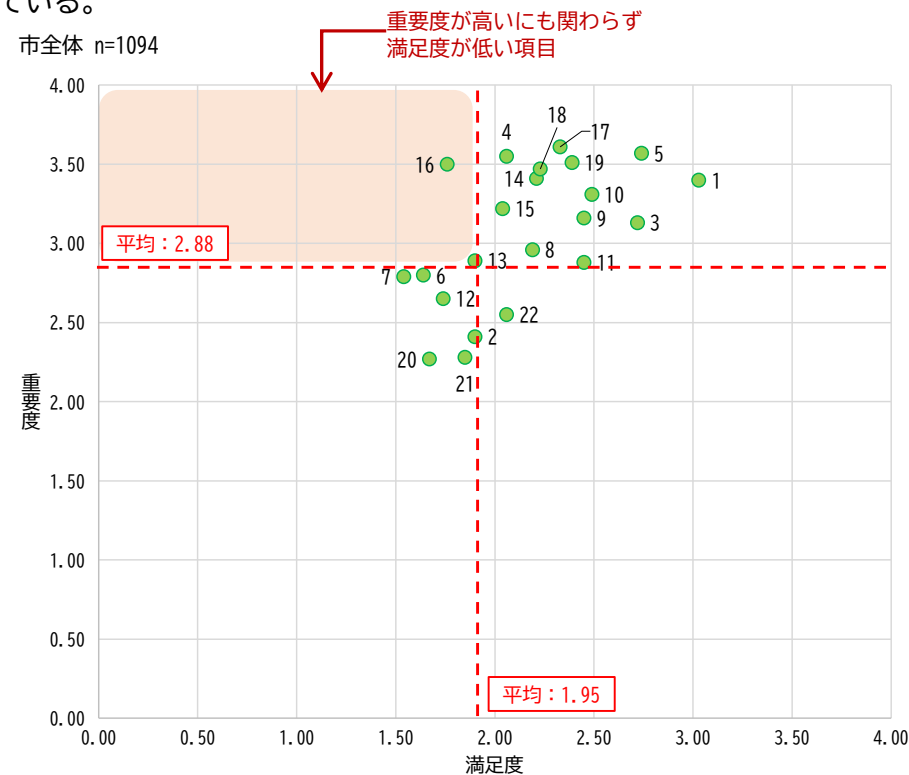
※重要度の平均は、
「重要」４点
「やや重要」３点
「あまり重要でない」２点
「重要でない」１点
「わからない」０点
とし、合計値を回答者数で除して算出

	平均	
	満足度	重要度
1 落ち着いた住環境	3.03	3.40
2 新たな住宅地の整備	1.90	2.41
3 美しいまちなみ、自然との調和	2.72	3.13
4 公共交通機関の使いやすさ	2.06	3.55
5 日常的な買い物のしやすさ	2.74	3.57
6 駅周辺での商業施設の充実	1.64	2.80
7 雇用の場や雇用につながる企業の誘致	1.54	2.79
8 公共施設の整備、再編	2.19	2.96
9 下水道の整備	2.45	3.16
10 幹線道路や身近な生活道路の整備・維持	2.49	3.31
11 周辺の公園整備	2.45	2.88
12 市内の農地・山林の保全	1.74	2.65
13 河川やため池などの水辺環境の保全	1.90	2.89
14 歩道の安全や心地よさ	2.21	3.41
15 駅や道路、公共施設のバリアフリー化	2.04	3.22
16 地震や水害に対する備え	1.76	3.50
17 治安に対する安心感	2.33	3.61
18 交通安全対策	2.23	3.47
19 医療や福祉施設の利用のしやすさ	2.39	3.51
20 歴史・文化資源を活用した魅力づくり	1.67	2.27
21 集落の風景や市固有の景観形成	1.85	2.28
22 自治会や地域のコミュニティ活動	2.06	2.55

■重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目

重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は、「16. 地震や水害に対する備え」、「13. 河川やため池などの水辺環境の保全」が挙げられる。

災害に対する安全性に関する項目が挙げられており、地震対策や水害対策の充実が求められている。また、水辺環境の保全も重要視されており、各務原市が有する豊富な緑地環境に加え、河川やため池などの水辺環境の保全が求められている。



■年代別に見た満足度の平均が高い項目

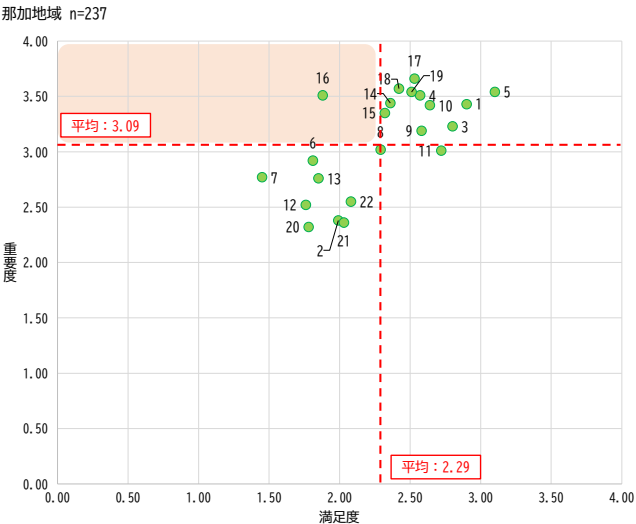
年代別に見た満足度の平均が高い項目では、20 歳代以下の除く全ての年代において「1. 落ち着いた住環境」が最も満足度が高くなっている。

項目	20 歳代以下	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳代以上
1 落ち着いた住環境	●	★	★	★	★	★	★
2 新たな住宅地の整備							
3 美しいまちなみ、自然との調和	●	●	●	●	●		
4 公共交通機関の使いやすさ		●	●	●	●	●	
5 日常的な買い物のしやすさ	★	●	●	●	●	●	
6 駅周辺での商業施設の充実							
7 雇用の場や雇用につながる企業の誘致							
8 公共施設の整備、再編							
9 下水道の整備						●	●
10 幹線道路や身近な生活道路の整備・維持							
11 周辺の公園整備							●
12 市内の農地・山林の保全							
13 河川やため池などの水辺環境の保全							
14 歩道の安全や心地よさ							
15 駅や道路、公共施設のバリアフリー化							
16 地震や水害に対する備え							
17 治安に対する安心感							
18 交通安全対策							
19 医療や福祉施設の利用のしやすさ							
20 歴史・文化資源を活用した魅力づくり							
21 集落の風景や市固有の景観形成							
22 自治会や地域のコミュニティ活動							

★：最も平均が高い回答項目
●：平均が高い項目（上位２位、３位の項目）
※同数の場合は該当する全ての項目を挙げていますとし、合計値を回答者数で除して算出

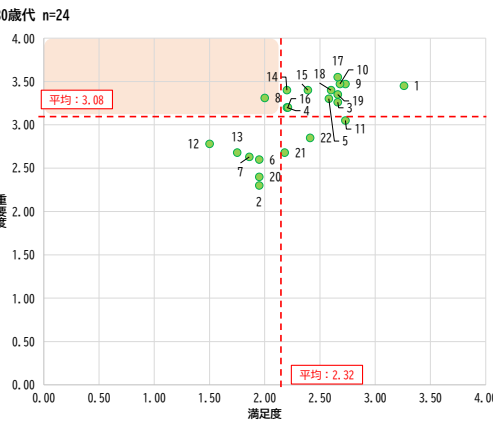
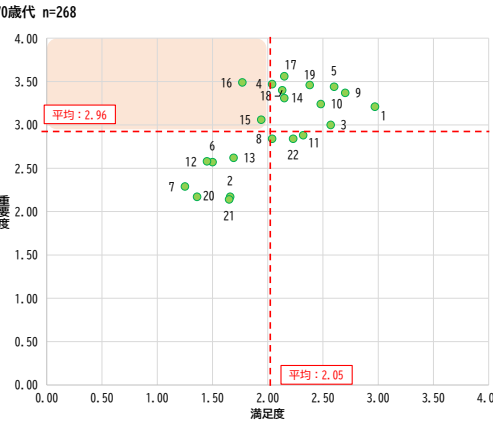
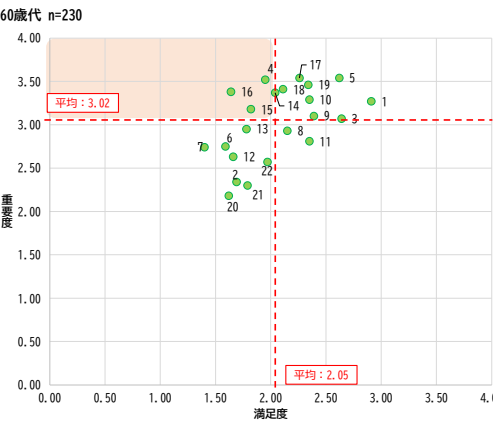
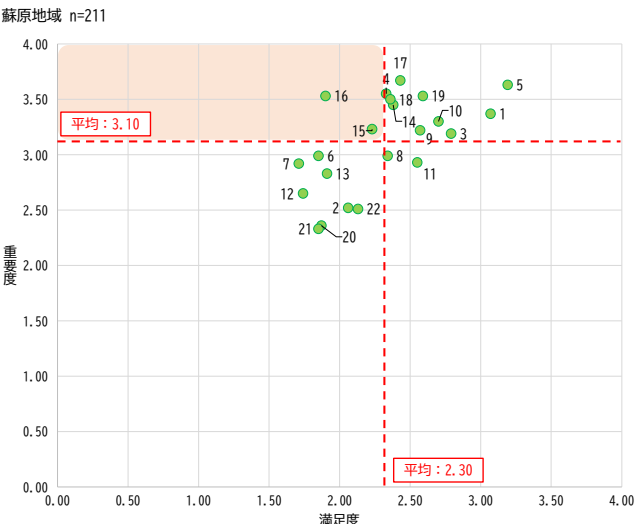
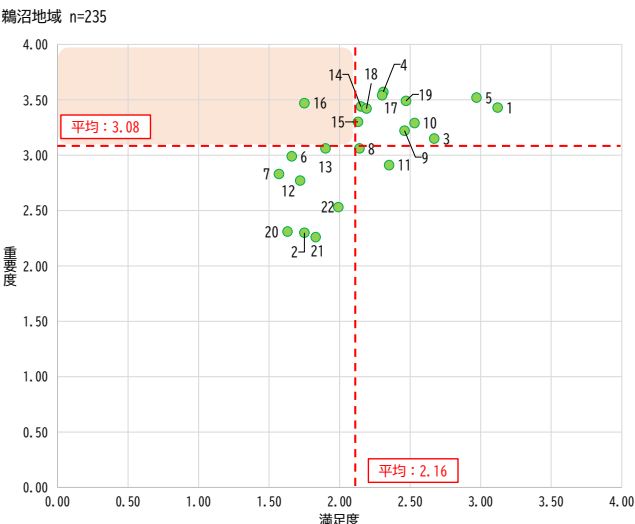
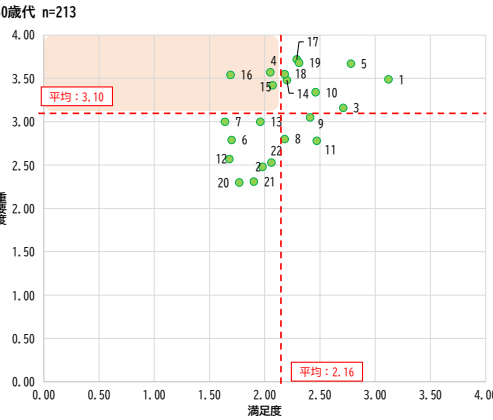
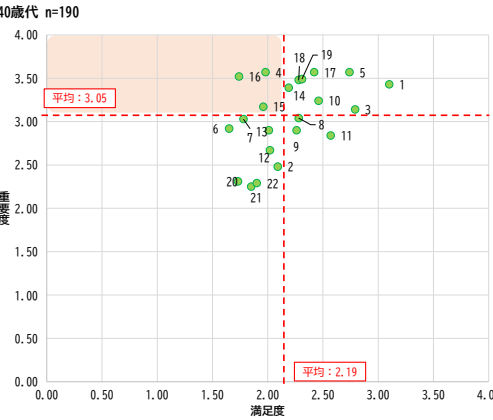
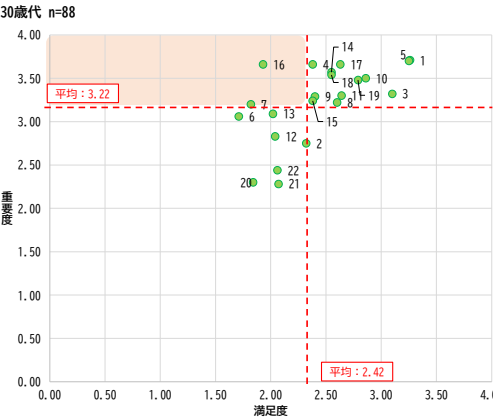
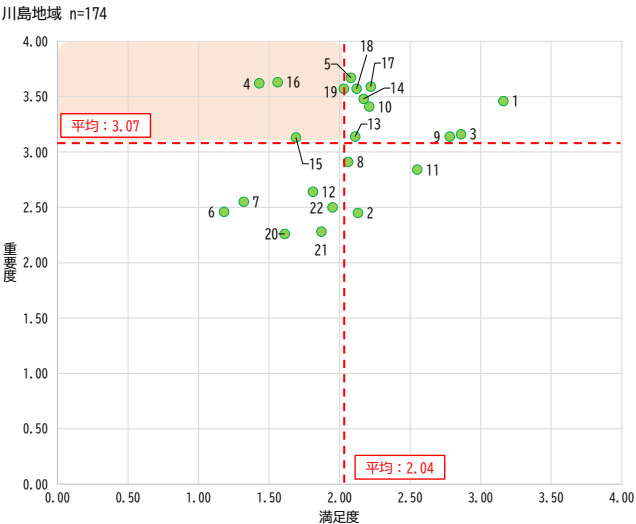
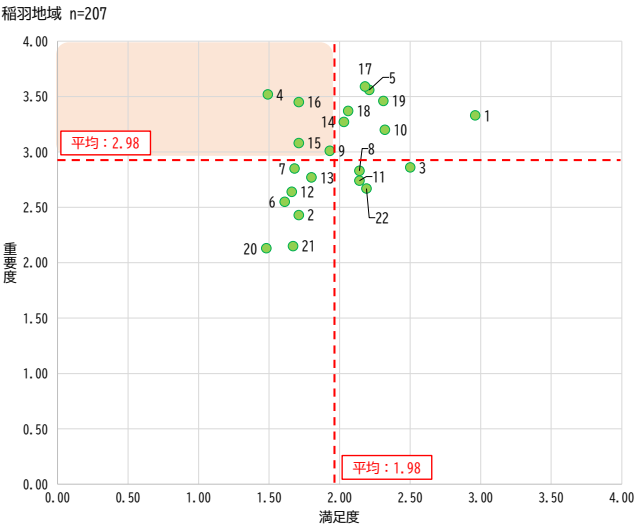
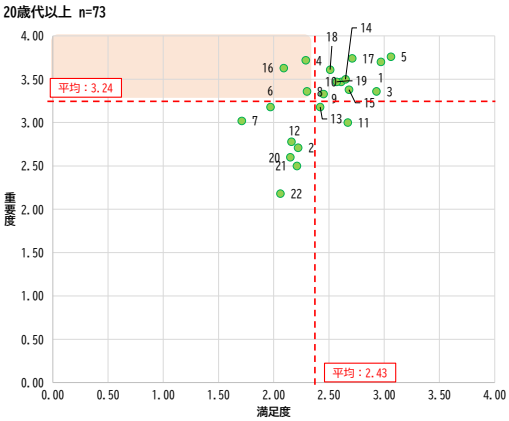
■重要度が高いにも関わらず満足度が低い項目（地域別の集計）

- ①那加地域
「16. 地震や水害に対する備え」が挙げられる。
- ②稲羽地域
「4. 公共交通機関の使いやすさ」、「9. 下水道の整備」、「15. 駅や道路、公共施設のバリアフリー化」、「16. 地震や水害に対する備え」が挙げられる。
- ③川島地域
「4. 公共交通機関の使いやすさ」、「15. 駅や道路、公共施設のバリアフリー化」、「16. 地震や水害に対する備え」が挙げられる。
- ④鵜沼地域
「16. 地震や水害に対する備え」が挙げられる。
- ⑤蘇原地域
「15. 駅や道路、公共施設のバリアフリー化」、「16. 地震や水害に対する備え」が挙げられる。



■重要度が高いにも関わらず満足度が低い項目（年齢別の集計）

- ①20歳代以下
「4. 公共交通機関の使いやすさ」、「8. 公共施設の整備、再編」、「16. 地震や水害に対する備え」が挙げられる。
- ②30歳代
「7. 雇用の場や雇用につながる企業の誘致」、「16. 地震や水害に対する備え」挙げられる。
- ③40歳代
「4. 公共交通機関の使いやすさ」、「15. 駅や道路、公共施設のバリアフリー化」「16. 地震や水害に対する備え」が挙げられる。
- ④50歳代
「4. 公共交通機関の使いやすさ」、「15. 駅や道路、公共施設のバリアフリー化」「16. 地震や水害に対する備え」が挙げられる。
- ⑤60歳代
「4. 公共交通機関の使いやすさ」、「15. 駅や道路、公共施設のバリアフリー化」「16. 地震や水害に対する備え」が挙げられる。
- ⑥70歳代
「4. 公共交通機関の使いやすさ」、「15. 駅や道路、公共施設のバリアフリー化」「16. 地震や水害に対する備え」が挙げられる。
- ⑦80歳以上
「8. 公共施設の整備、再編」が挙げられる。



問7 あなたは、現在のお住いから徒歩で移動できる範囲及びお住まいの地域、都市拠点に最低限どのような施設があるとよいですか。あなたのお考えに近いと思う施設について全て選び、各施設欄の右欄にそれぞれ○をつけてください。

(1) 全体集計

住まいから徒歩で移動できる範囲にあるとよい施設では、「バス停」が最も多く、次いで「小学校」「公園、遊歩道」となっている。

自転車、車、公共交通機関等で移動できる範囲にあるとよい施設では、「職場」が最も多く、次いで「複合商業施設」「運動施設」となっている。

東と西の都市拠点にあるとよい施設では、「娯楽施設」が最も多く、次いで「運動施設」「その他」となっている。

(2) 地域別の集計（徒歩で移動できる範囲）

①那加地域

「バス停」の回答が最も多く、次いで「公園、遊歩道」、「小学校」となっている。

②稲羽地域

「バス停」の回答が最も多く、次いで「小学校」、「公園、遊歩道」となっている。

③川島地域

「バス停」の回答が最も多く、次いで「小学校」、「公園、遊歩道」となっている。

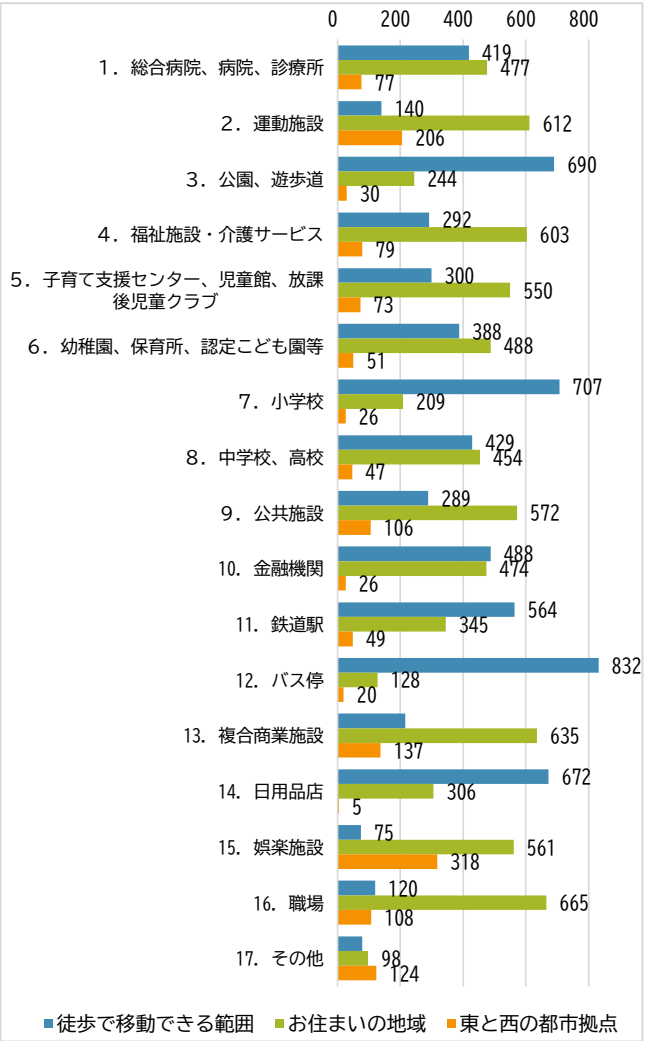
④鵜沼地域

「バス停」の回答が最も多く、次いで「小学校」、「公園、遊歩道」となっている。

⑤蘇原地域

「バス停」の回答が最も多く、次いで「小学校」、「公園、遊歩道」となっている。

項目	那加地域	稲羽地域	川島地域	鵜沼地域	蘇原地域
1 総合病院、病院、診療所					
2 運動施設（体育館、グラウンド、プール等）					
3 公園、遊歩道	●		●	●	
4 福祉施設・介護サービス（老人ホーム、グループホーム、障がい者（児）施設等、総合福祉会館、通所・訪問系（デイサービス等））					
5 子育て支援センター、児童館、放課後児童クラブ					
6 幼稚園、保育所、認定こども園等					
7 小学校	●	●	●	●	●
8 中学校、高校					
9 公共施設（市役所、サービスセンター、図書館文化会館、文化ホール、ライフデザインセンター等）					
10 金融機関（銀行、郵便局等）					
11 鉄道駅					
12 バス停	★	★	★	★	★
13 複合商業施設（ショッピングセンター、ショッピングモール等）					
14 日用品店（食品スーパー、ドラッグストア、コンビニ等）		●			●
15 娯楽施設（映画館、ボーリング場、博物館、美術館等）					
16 職場					
17 その他					



※東の都市拠点：鵜沼駅・新鵜沼駅周辺
西の都市拠点：那加駅・新那加駅周辺

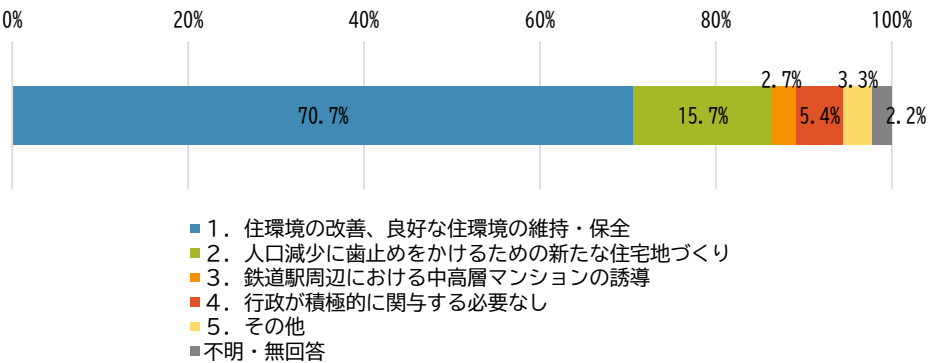
★：最も平均が高い回答項目

●：平均が高い項目（上位2位、3位の項目）

※同数の場合は該当する全ての項目を挙げていますとし、合計値を回答者数で除して算出

問8 **住宅地** どのような住宅・住環境づくりを進めるとよいと思いますか。（1つに○）

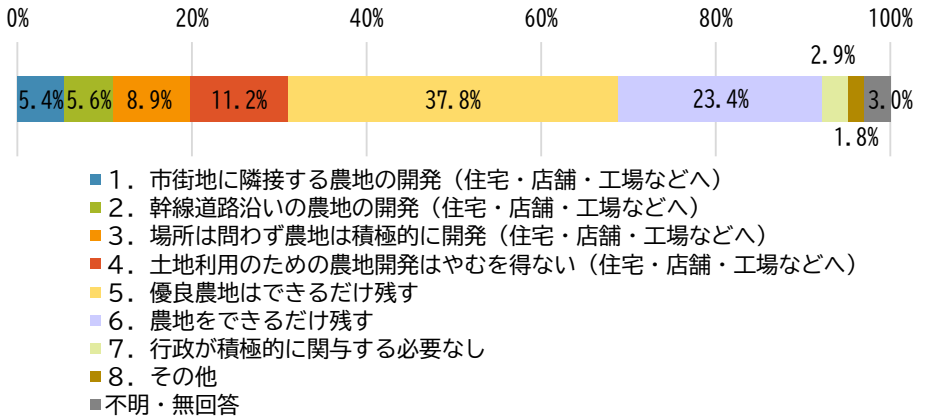
今後どのような住宅・住環境づくりを進めるとよいかについて、「住環境の改善、良好な住環境の維持・保全」の回答数が最も多く、次いで「人口減少に歯止めをかけるための新たな住宅地づくり」、「行政が積極的に関与する必要なし」となっている。



	回答数	構成比(%)
1. 住環境の改善、良好な住環境の維持・保全	773	70.7
2. 人口減少に歯止めをかけるための新たな住宅地づくり	172	15.7
3. 鉄道駅周辺における中高層マンションの誘導	30	2.7
4. 行政が積極的に関与する必要なし	59	5.4
5. その他	36	3.3
不明・無回答	24	2.2
合計	1094	100

問11 **農業** 今後は農地をどうするとよいと思いますか。（1つに○）

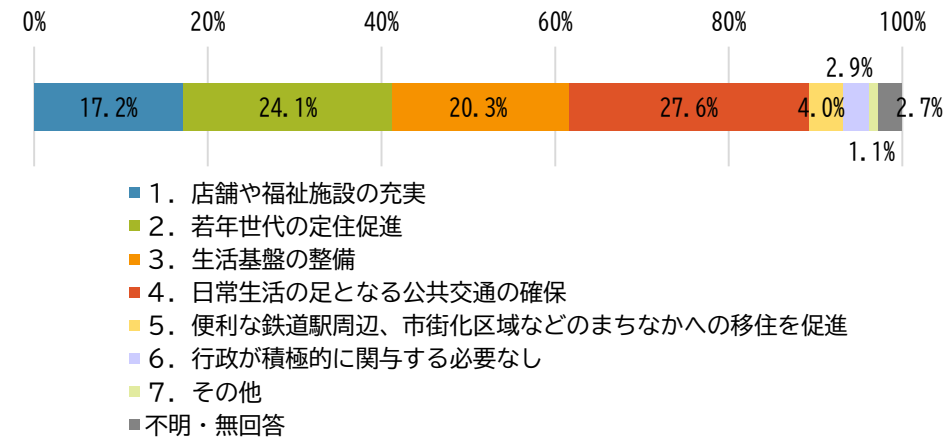
今後農地をどうするとよいかについて、「優良農地はできるだけ残す」の回答数が最も多く、次いで「農地をできるだけ残す」「土地利用のための農地開発はやむを得ない」となっている。



	回答数	構成比(%)
1. 市街地に隣接する農地の開発（住宅・店舗・工場などへ）	59	5.4
2. 幹線道路沿いの農地の開発（住宅・店舗・工場などへ）	61	5.6
3. 場所は問わず農地は積極的に開発（住宅・店舗・工場などへ）	97	8.9
4. 土地利用のための農地開発はやむを得ない（住宅・店舗・工場などへ）	122	11.2
5. 優良農地はできるだけ残す	414	37.8
6. 農地をできるだけ残す	256	23.4
7. 行政が積極的に関与する必要なし	32	2.9
8. その他	20	1.8
不明・無回答	33	3
合計	1094	100

問 12 市街化調整区域の集落地 今後の集落地のあり方をどうするとよいと思いますか。（1 つに○）

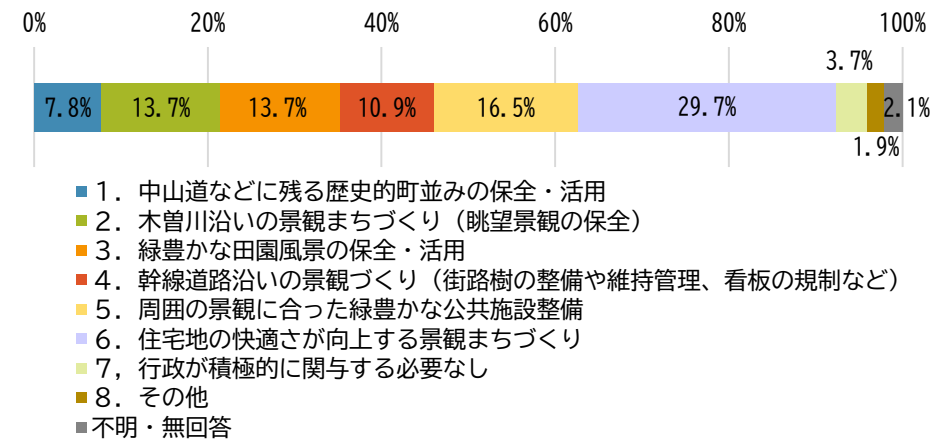
今後の集落地のあり方をどうするかについて、「日常生活の足となる公共交通の確保」の回答数が最も多く、次いで「若年世代の定住促進」、「生活基盤の整備」となっている。



	回答数	構成比(%)
1. 店舗や福祉施設の充実	188	17.2
2. 若年世代の定住促進	264	24.1
3. 生活基盤の整備	222	20.3
4. 日常生活の足となる公共交通の確保	302	27.6
5. 便利な鉄道駅周辺、市街化区域などのまちなかへの移住を促進	44	4
6. 行政が積極的に関与する必要なし	32	2.9
7. その他	12	1.1
不明・無回答	30	2.7
合計	1094	100

問 13 景観 どのような景観まちづくりを進めると良いと思いますか。（1 つに○）

今後どのような景観まちづくりを進めるとよいかについて、「住宅地の快適さが向上する景観まちづくり」の回答数が最も多く、次いで「周囲の景観に合った緑豊かな公共施設整備」、「木曽川沿いの景観まちづくり（眺望景観の保全）」、「緑豊かな田園風景の保全・活用」となっている。



	回答数	構成比(%)
1. 中山道などに残る歴史的町並みの保全・活用	85	7.8
2. 木曽川沿いの景観まちづくり（眺望景観の保全）	150	13.7
3. 緑豊かな田園風景の保全・活用	150	13.7
4. 幹線道路沿いの景観づくり（街路樹の整備や維持管理、看板の規制など）	119	10.9
5. 周囲の景観に合った緑豊かな公共施設整備	181	16.5
6. 住宅地の快適さが向上する景観まちづくり	325	29.7
7. 行政が積極的に関与する必要なし	40	3.7
8. その他	21	1.9
不明・無回答	23	2.1
合計	1094	100

自由意見

【意見概要】

公共交通について	
公共交通機関について（バスルート、バス停、ダイヤ、充実など）	55
駅や駅周辺について（設備、駐輪場、駐車場など）	8
街路・道路について	
植樹帯、街路樹について（除草、剪定、配置、充実など）	29
歩道、自転車道について（歩車分離、段差の解消、専用道新設など）	19
道路について（道路網、舗装、狭あい道路、交差点改良、高架化など）	17
通学路について	10
遊歩道やサイクリングコースの整備（設備など）	9
渋滞の解消について	5
車両に対する規制（速度、通行など）	5
車がないと不便	5
橋の新設について	2
公園・緑地について	
公園・緑地について（充実、整備、改修、管理、設備など）	26
緑化推進について	9
産業について	
商業施設について（大型店、個人店、誘致、充実など）	27
企業の誘致について	4
公共施設・インフラについて	
公共施設について（新設、整備、改修、老朽化など）	13
上水道について（水質など）	6
インフラ整備について	5
今あるものの活用、維持管理が重要	4
中央図書館について	2
開発や利活用について	
空き家・空き地について（活用、除草など管理、規制など）	21
農地や耕作放棄地、農業振興について	18
市街化調整区域内の開発について	13
都市拠点について	7
市街化区域編入について	5
住環境について	3
まちなみや資源の保全や再現、PRについて	3
建築物の規制について	1

人口減少・高齢化について	
子育て支援について	11
人口について（高齢化、人口減少など）	10
医療施設の充実について（新規、医師確保など）	4
安全・安心について	
水害対策について（河川整備、側溝、排水設備など）	11
街灯について（新規設置、管理など）	8
災害時の施設の活用や避難所について（公園、学校など）	7
地震による災害への対策	6
防犯対策について	2
少子高齢化対策	2
まちづくりについて	
まちづくりについて	11
地域の格差について	10
他団体との連携について	2
コンパクトなまちづくりについて	2
環境対策について	
騒音について（車や航空機）	8
環境保全（緑、農地、水辺など）	6
ゴミについて（マナー、ステーション、ゴミ捨てなど）	6
山林の管理について	4
自然を活かすことについて	1
カーボンニュートラルについて	1
その他	
自治会について	8
ダイバーシティの推進について	5
ボランティアや地域の活動について	5
都市計画マスタープランについて	5
現状に満足している	4
財政について（税金、金がかかるなど）	4
イベントについて	4
緑の基本計画について	4
行政について	3
アンケートについて	3
周知の方法について（市HP、広報、回覧板など）	2
現状維持について	2
施策などのPRについて	1